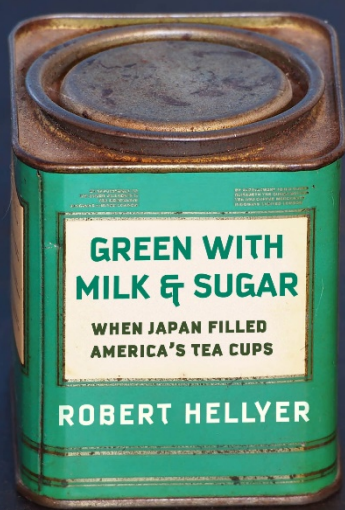


Green with Milk and Sugar When Japan Filled America's Tea Cups ミルク&砂糖入りの緑茶：日本がアメリカのカップを満たした時代

ロバート・ヘリヤー



アメリカは紅茶の消費量が多い国の1つであるが、日本では緑茶、とりわけ煎茶が好んで飲まれている。ロバート・ヘリヤーは、両国で人気の高いこれらの飲料がかつて密接にかかわっていた知られざる事実を明らかにする。本書では、茶農家へと転身した旧幕臣にはじまり、貿易商として活躍した著者の先祖に至るまで、茶の貿易に携わった人々の数奇な人生を生き生きと描写し、両国民の生活および消費財の貿易の歴史を紹介するのみならず、両国において定着している日常的な習慣が、実は外国の影響を大いに受けていた点に新たな洞察をもたらす。

日時：2021年11月17日(水)午前10:40～12:10/日本時間(質疑応答含む)

媒体：Web会議システム“Zoom”

使用言語：日本語

参加費：無料

申込み：11月3日(水)までに、次のリンクにあるフォームにて、お申込みください。

<https://www.iucjapan.org/html/events.html> (定員200名先着順)

お申込みを受付けた方には、Zoom IDを後日ご案内します。

お問合せ：アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 講演会係 events@iucjapan.org



ロバート・ヘリヤー (Robert Hellyer)

ウェイクフォレスト大学歴史学科准教授。1994年IUCを卒業。2001年スタンフォード大学にて博士号取得。近世・近代日本史が専門で、これまで『Green with Milk and Sugar: When Japan Filled America's Tea Cups』のほか、『Defining Engagement: Japan and Global Contexts, 1640-1868』と『The Meiji Restoration: Japan as a Global Nation』(共編)を上梓。

主催：アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター (IUC)

本イベントは日本財団の助成により開催されます。